

前回の横須賀市立病院運営委員会におけるご意見の整理

1 指定管理者の公募・非公募について

	肯定的	否定的
公募	①公募という意見を尊重した方が良いと思う。	②現在安定した運営を行っているので、敢えて公募にする必要は無い。安定した運営が行えなくなってきた時に公募を検討するのも一案。
非公募	③非公募でも指定管理者の評価を行うことは可能なので、現時点では非公募とし、評価が悪化してきた時に公募を検討してはどうか。 ④非公募であっても、指定管理者に対する評価を市民に公表することが重要。評価は、経営成績だけでなく患者満足度や待ち時間に関する評価など、市として指定管理者の評価基準を検討すべき。	⑤非公募が続くことで評価基準が現指定管理者の運営を前提としたものになり、他の事業者が参入し辛くなる恐れがある。

2 指定管理期間の長さについて

⑥病院という特性や、安定した運営を行うことを考慮し、できるだけ長期間とした方が良い。

⑦ある程度の長期間であれば、雇用面で職員が安心して働くことができ、患者サービスの向上にもつながると思う。

⑧20～30年という長期の契約は、一般的には考えられない。

⑨長期間指定管理者が変わらないと、運営自体がマンネリ化する恐れがある。

⑩あまりに長期間では、より良い病院にするための取組みが疎かになる恐れがある。

⑪頻繁に指定管理者が変わると、地域医療の連携、病院職員の人間関係の構築などが困難になると思われる。

⑫短期間では経営方針を策定しても、その道半ばで指定管理期間が終了してしまい、病院運営が安定しない恐れがある。

⑬短期間では、院内の各部門が取り組んだ改革の成果が出る前に指定管理期間が終了してしまう恐れがある。

⑭第三者機関による病院機能評価は5年に1回なので、指定管理期間は5年以上とすべき。

⑮短期間で指定管理者が変わることは、患者にとってメリットがあるのか疑問に思う。